**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | | **自己評価** | **記述** | **運営推進会議で話しあった内容** | **外部評価** | **記述** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** | | | | |  |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 認知症の人が、その人らしく個人として尊重されながら生活していくために、事業所としてどんな支援が必要かを考えた理念。理念は全職員が毎日の勤務時に目につくよう事務所内に掲示しており、それを踏まえた年間職場目標シートを作成し、入居者の生活ケアを考える上での基礎となっており、毎回の職場会議で振り返りを行い実践している。 |  |  |  |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 町内会や地域の子ども園との交流も続けていて、地域の行事には、入居者と共に参加するよう心がけている。今年度もコロナ禍のため地域の行事も中止となり、交流も実施できていない。唯一町内の溝掃除は2回開催されたため、地域の方と職員との交流はできた。地域の方や保育園児が散歩していると挨拶や軽く会話をしたり、ホーム内から手を振っている。 | コロナ禍のため活動のしにくさはあると思うがその中でも創意工夫をされ活動されている。町内行事に積極的に参加され、また事業所付近でスタッフの方々とは気軽な挨拶も交わし地域に溶け込んだ交流をしている。 |  |  |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 可能な限り対面での運営推進会議で、ホームの活動状況や課題などを報告し、貴重な意見を頂きながら意見交換をしている。入居者さんの昔話や地域の様子も知る事ができ、情報交流の場となっている。評価の公表結果もお伝えし、公表結果を町内の回覧版にて回覧してもらっている。 | 地域民生委員の方も参加され、入居者へのサービス内容もしっかり共有されている。またホームの活動や取り組み状況がしっかり把握できスタッフの方々の熱意が伝わる。 |  |  |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 包括支援センターより色々な相談を受けたり、市町村の担当者から行方不明高齢者探してメールや詐欺被害等、情報をもらう事もある。また生活保護を受けている利用者に関する連絡・指導等連携を取り合っている。 | 市町村との連携も図れているので、引き続き継続して下さい。 |  |  |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 身体拘束、抑制ともに行っていない。指針を作成し、日頃から学習を深めている。どんな行動が抑制や拘束にあたるかを繰り返し確認し、禁止の対象となる拘束はもちろん、心の拘束につながるスピーチロック等について学習会や職場会議等で定期的に学習している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 奇数月に身体抑制委員会を実施。6月に権利擁護、2月に行動制限の学習会を行っている。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 身体拘束と同様に、虐待についても学習の機会を持ち、見過ごされないように努めている。　利用者への声かけにも心にゆとりを持ち、しっかり意識を持って相対するように取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 生活保護受給者も入居ができるように、指定を受けており、減免制度も設けている。家族と同様に、後見人にもご本人の身上監護の部分で協力を頂いている。系列病院の精神保健福祉士にも相談・助言して頂き、学びの機会を深めている。 |  |  |  |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 契約や重要事項に関しては、必ず管理者が文書に加え、口頭で説明を行っている。不安や疑問があればいつでも相談できるような関係を築くようにしている。 |  |  |  |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 日常のことやレクレーションへの意見を引き出せるよう、月に１回入居者と職員で寄り合い会を行ったりホーム内に意見箱を設置し、ホームの運営に活かしている。ご家族へは毎月入居者の様子が伝わるよう個別に手紙の送付と年1回満足度調査を行っている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 細かく様子を伝えてくれ、タブレット等で面会等通信機器の活用もしている。認知症の方には画面越しの面会が難しいと感じる場面もある。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 毎月行っている全員参加の職場会議で意見が出ることが多く、年に１回個別面談を行っている。また不定期ではあるが、法人の役員が職場会議に参加する機会も設けており、意見を反映できるようにしている。 |  |  |  |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 給与水準の引き上げ・維持にも努力している。休憩時間の確保、認知症ケアのやりがいを伝えるなど、職場環境の整備に努めている。また月1回運営会議で法人の役員に報告・相談する機会を設けている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | きちんと職員一人一人の声を汲み取り問題改善や長期就労の実現に向けて努力してくれている。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 年に１回は順番に法人内外の研修への参加の機会を作り、学んできた事を毎月の職場会議で伝達講習して頂いたり、学習会を設け定期的に外部講師に来て頂く事で、学びの機会を設けている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ禍でも創意工夫しホーム内での学習会等で学ぶ機会が多く、スキルアップする事で、それぞれが自信を持って介護に携わる事ができている。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 隔月で開催される介護福祉委員会に参加し、他法人との情報共有や相談を行っている。また管理者同士の情報交流などは随時行い、ホームの運営に生かしている。 |  |  |  |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 職員が本人のできること、できないことを正しく理解し、本人に適した介助のもとで本人のもつ力を活かして暮らせるようにしている。教わる事や手伝って頂く事も多く、入居者さんも役割を持つ事で生き生きされ、お互いに感謝の声が聞かれる。 |  |  |  |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | LINEでの動画面会やメールでの報告、電話連絡や新聞の送付等、友人や家族との絆や関係性を途切れさせない工夫をしている。コロナ禍で制限される中、ホームの職員や隣接病院の職員などが入居者さんの馴染みの関係になっている。また入居者同士も馴染みの関係になれるよう、お互いの共通点を話題に職員が間に入り関係を構築している。 | コロナ禍で面会ができない病院や施設が多い中、今出来る手立てで工夫し、御家族との関係を保たれており素晴らしいと思う。人生の中での絆や馴染みは重要と思うので是非とも今後も途切れる事のないよう取り組んで下さい。 |  |  |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | |  |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 本人の思いや意向を日常の会話の中から情報収集したり、毎月開催の寄り合い会では活発な意見交流ができるよう努めている。職員の都合で進まないよう、常に立ち止まり考える機会も職場会議で設けている。 |  |  |  |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 全職員参加のケア会議において、入居者一人一人の思いや意向、自主性を大切に、気づきや課題などを話し合い、ケアプランを作成。家族に、作成後に説明をする機会を設け、その際に意見を頂き反映させている。 | 本人の意向をケアプランに反映されている様子が伺え、非常に良い事です。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 家に帰りたいと言ってご迷惑をかけているのでは…と思うが、家ではホームのような介護はできないので大変感謝している。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 職員全員が日々の観察に努め、個人記録やミーティングノートに内容がしっかり記録している。その情報を基に職場会議録を作成し、話し合う事でケアプラン作成の土台になっている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | できる限りニーズに応えられるよう、家族と連携しながら、職員の理解や協力を得ている。また看取りの支援や入居者さんの体調不良時には速やかに対応している。日常の生活の中での希望やニーズに対しては、その時々に柔軟に対応している。 | 支える事はその時々に生じるニーズに柔軟な対応が求められるため継続的取り組みを願います。無記名でのアンケートを実施し、家族がどのような要望や改善点があるか確認するのも一つの手法かとも思います。 |  |  |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 地域での行事、近隣病院の行事参加、散歩の際の地域の方との触れ合いや地域の保育園児との交流など、地域の方々が入居者の心身に良い影響をもたらしてくれている。 | 地域との交流もしっかりされており、今後も継続を望みます。入居者の方々に家庭の匂いを思い出すような施設交流を地域としても図りたい。 |  |  |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 隣接病院の医師がかかりつけ医となって月２回の往診がある。また医師と協力しながら、その都度本人の状態を伝え、相談体制を築いている。家族の希望で近隣の病院に歩行リハビリに行っている方や歯科往診の方もいる等、医療連携が出来ている。 |  |  |  |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 入居者が早期に回復し退院できるよう、ホームでのケアや介護方法を医療機関に「介護添書」として情報提供している。入院後も、状態把握に努め、治療方針や退院に向けた面談に同席している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 入居時に家族に対して看取りを希望するか意向確認を行っている。また終末期ケアのあり方について職員で協議をし、家族協力が必要不可欠である事から、段階に応じて家族と話し合いの機会を持つことにしている。また職員に対して看取り学習会を実施し、職員の不安や思いを聞き、少しでも良い看取りができるように努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 最近のケースで、嚥下状態が悪くなり病院で胃瘻を勧められた方が、入院をせずに最期まで食べたいと言うご本人の想いに寄り添い、御家族と面談を重ね、ご本人にとって何ができるか、どんな支援が必要か、最善策を日々話合い、ケアする事で御家族も職員も悔いのないお看取りができた。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 急変時、事故発生時、感染症発生時の対応マニュアルがある。判断に迷ったときの相談体制の整備もできている。また訓練や学習会の機会も設けている。 |  |  |  |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 火災発生時入居者を含めた避難訓練を年２回実施。また地震や水害発生時の避難訓練を年１回実施。運営推進会議でも議題に上げている。 | 定期的な避難訓練をされているので、今後も継続を。様々な場面を想定した(コロナ陽性者がいる場合の避難方法等)実施を望む。また近年は想定外な災害が発生しているので関係機関との万全な体勢構築を図る事も大切。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 今年度も入居者を含めた避難訓練を9月と3月に実施、台風による水害災害訓練を7月に実施している。 |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | |  |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 自分がされたらどう感じるか、自分の身内がされたらどう感じるか、常に自分たちの言動を振り返るよう、職員間で話をしている。また接遇向上委員会が中心となり、「利用者さんの思いに耳を傾けよう」と病院全体で取り組んでいる。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 事業所全体で接遇向上委員会を設置。入居者さんに聞き取りを行ったり、ホーム内にも意見箱を設置している。毎月寄り合い会も実施し、ご本人が意見や思いを自由に発言できる場を作っている。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 選択肢を用意し、できるだけ本人の自己決定を促すようにしている。こうしたらどうか？という提案はさせてもらっている。こちらから手伝いをお願いする部分もあるが、お部屋でゆっくり過ごす日もあれば、居間で過ごす時間が多いなど、入居者のその日の気分で過ごして頂いている。 |  |  |  |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 利用者の重度化が進み、介護にかかる時間や質の向上を考え、ホームの厨房での調理から隣の母体病院からの配食をしている。毎食病院から運んでおり、利用者からの要望や味付けの注文も伝達表で報告している。メニューのお知らせや台拭き、お茶入れや配膳等、入居者が分担して役割を持ってもらっている。また入居者の嚥下状態に合った食事形態(ソフト食やお粥、ミキサー食等)を提供している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | うなぎが食べたいやお寿司が食べたい等、利用者の希望があれば、テイクアウトをしたり、ホームで作って提供している。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 個人に合わせた量で提供し、細かく刻む必要がある場合は個別に対応している。どんぶり物が苦手な方にはおかずとご飯に分けたり、小皿が必要な方には小皿に移したり、スプーンの利用を促したり、配膳にも工夫をしている。食事摂取量の把握に努め、必要あれば栄養補助食品やジュースで補っている。 |  |  |  |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 個人に合わせた口腔ケアを丁寧に行っている。必要な方は歯科医の往診や歯科衛生士の口腔ケアが受けられるよう支援している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 個人の排泄サインを見逃さないようにし、トイレへ誘導。尿意や便意が表せない場合は、個人の排泄パターンに応じてトイレの声かけや誘導を行っている。毎日の排便チェックを行い、個々に応じて水分摂取をすすめ、排便調整に心がけている。午前に体操や散歩等を行い、運動して頂いている。失敗してもご本人の羞恥心に配慮した声掛けや対応を行っている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない |  |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 週２回、３人ずつ午後に入浴している。それぞれの好みの湯の温度や入浴の仕方などを把握している。時に拒否が見られる人には時間を置いて誘う、日を変えて対応する等の工夫をしている。体制上いつでも入浴することが難しく夜間の入浴はできていない。 |  |  |  |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | それぞれの入眠のタイミングを大切に寝間着に着替えたり歯磨きを促したり等の就寝介助をしている。早くに眠る方もいれば、テレビを楽しんでから遅めの時間に眠る方もいる。空腹で眠れない方には、少量のおやつなどを提供して、スムーズに入眠できるよう援助している。 |  |  |  |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 個人の薬情報をファイルに綴じて、いつでも確認できるようにしている。服薬内容が変更になる際は、申し送りを行い、職員の周知徹底をすると共に家族にも報告している。薬局とも連携しハイリスク薬について台所に掲示している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 薬局の薬剤師に講師に来て頂き、職場学習会を開催。職員はお薬の知識を学び、薬剤師との情報交換を行っている。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | それぞれの得意なことをホームの中での役割として家事、洗濯、掃除、修繕等を担って頂いている。外出が難しいため食べたい物を外注したり、毎月の行事やフラワーアレジメント、カラオケ等ホーム内でも楽しめる活動を企画している。 | 個性を生かした生活が送る事が出来ている様で素晴らしいと思う。 |  |  |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 日中天気の良い日には近燐を散歩して外気を浴びて季節を感じてもらうよう支援している。桜ドライブや紅葉ドライブや初詣等感染症を考慮した外出の機会を設けている。 | 感染に考慮しながら計画的に外出されている事が伺え、良い活動をされていると思う。時々外で見かけますが、ご挨拶を頂き、アットホームな印象がある。 |  |  |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | トラブル防止のため、全員ホームで金銭管理をしている。 |  |  |  |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 家族への電話や手紙のやりとりなど、支援している。LINEを使ったオンライン面会を整備したため、要望時はスムーズに電話できる様支援をしたり、日々の活動写真や報告を家族に送ったりしている。 |  |  |  |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 個人によって、刺激になるものが違うため配慮が難しい場合もあるが、不快・混乱が起きないように配慮し、季節に感じて頂けるよう玄関やリビングにフラワーアレンジメントで活けた色とりどりの花や入居者と作った掲示物を飾っている。リビングは明るく開放的な空間になっている。食堂・居間では、それぞれ自分の居場所となる定位置を持っており、思い思いに過ごしている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 季節毎に利用者と作った飾りや塗り絵を掲示している。職員が書いたそっくりな利用者の似顔絵も掲示しており、皆さんに好評。 |
| **Ⅳ．本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** | | | | |  |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 毎月の寄り合い会や日々の何気ない会話の中で思いや願い、意向を組み、できる限り実行している。また必要であれば家族にも連絡し、協力を仰いでいる。 |  |  |  |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 入居時に本人、家族、関係者から今までの生活歴や生活のペース、社会で担ってきた役割を聞き、職員間で情報共有を行い、今までの生活習慣を維持していきながら、新しい環境においても不安が少なく過ごせるようにしている。本人と職員の信頼関係作りが最も大切である事から、職員は本人に安心を与えられる存在になるよう早く顔馴染みの関係となるように努めている。 |  |  |  |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 月２回往診の機会がある事、毎日のバイタルチェックや日々の観察を行い、往診以外でも治療が必要な場合や相談が必要な場合等は隣接病院の医師や看護師等の医療スタッフと連携する事で、入居者の日常を支えている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 必要があれば専門の職員(介護・リハビリ・医療)に細かく診て頂いている。認知症のプロの方々に支援されているので困る事も少なく幸せ。介護ロボット普及支援事業の貸出等、色々なサービスも積極的に活用している。 |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 入居時の情報収集や日々の関わりの中での気づきから本人の生活ペースや性格、好みを把握した上で自分のペースに合った生活習慣を提供するようにしている。 |  |  |  |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 和風と洋風の居室があり、自宅から使い慣れたタンスやソファ、テレビを持参していたり、好みの色や柄のシーツ類を用意するなど、居心地のよい空間、家庭での生活の延長のような、その人らしい生活空間が維持できるよう努力している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 元々荷物を持参していない。物をほとんど置いていないが、本人の関心もなくなっている。落ち着く間取り。御家族と想い出の写真やプレゼントに囲まれて生活している。 |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | コロナ禍で制限され、外食はできず、外出する機会が少ないが、本人が希望すれば、可能な限り散歩や戸外での催事に参加している。 | 本人の希望に沿った活動ができている様子が伺える。 |  |  |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 食事の調達、台拭き、お茶くみ、配膳、モップがけ、拭き掃除、デッキの水落とし、ペンキ塗りや修繕、洗濯物干しや洗濯たたみ等それぞれ得意なことやできる事をホームの中での役割として担って頂いている。またやりたい事や食べたい物を伺い、お寿司や鰻等食べたい物をテイクアウトしたり、卓球やキャッチボール等も行っている。季節の行事やフラワーアレジメント、カラオケ、誕生日会等ホーム内でも楽しめる活動を毎月企画している。 |  |  |  |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 家族のように言いたい事をなんでも言い合え、日々の会話や関わりを大切にする関係作りに努めている。名詞が伝わりにくい方もいるため、伝わりやすい言葉を選んだり、動作で表現したりなど、ひとりひとりの認知に働きかけるアプローチを模索し、実行している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | なんでも言いたい事を言え、生き生きと生活している。自分からは積極的に話しかけるタイプでなくお話しできる方がいないので寂しい。歌が大好きなので毎日歌声の響くホームが落ち着く、楽しい。 |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | コロナ禍でボランティアの受け入れや保育園児との交流、地域の行事を中止しているため実施できていない。隣接病院の催し等は可能な限り参加している。地域の方や保育園児が散歩していると挨拶や軽く会話をしたり、ホーム内から手を振っている。 | 感染の影響もある中、難しい部分も大いにあると思うが、出来る範囲での交流の継続を望む。 |  |  |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | | 本人の思いに日々寄り添い、不安や不調に素早く細やかに対応し、家族の様に接する事で、毎日穏やかに健康に安心して過ごせる様に支援している。 | 本人にとって安心して、居心地の良い場所となってもらえるような支援を今後も継続して下さい。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 職員の皆様には大変優しくして頂き、喜んでいると思う。家に帰りたい日もあるが、自宅にいるよりは穏やかに過ごせている。 |